

国際ロータリー第2640地区
堺フェニックスネット例会
SAKAI PHOENIX Rotary Club

四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

2017 - 2018年度

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

地区ガバナー 岡本 浩
会 長 仲峯 豊
幹 事 カスムニアズ

堺フェニックスネット例会事務局

〒590-0021

堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16 C-17

TEL 072-227-4900 / FAX 072-227-4991

例会日 毎月15日より次月14日

ホームページより参加下さい。

<http://www.sakaiphoenix.com>

メールアドレスにて返信ください。

sakai.phoenix.1997@gmail.com

第12回ネット最終例会

2018年6月15日

2017-18年度 例会式次第

開 会 点 鐘	会 長	仲 峯 豊
クラブ会長 挨拶	会 長	仲 峯 豊
クラブ幹事 挨拶	幹 事	カ ス ム
会員増強・維持 セミナー		RI2650地 区
閉 会 点 鐘	会 長	仲 峯 豊

2018-19年度 第1回ネット例会ご案内

7月15日 1カ月間
より

1年間ネット例会
にご参加いただき
感謝申し上げます。
ありがとうございました。
次年度もよろしく
お願いします。



ROTARY : MAKING A DIFFERENCE 2017-18年度 RI会長 イアン E・S ライス'リー

ロータリー：変化をもたらす



會 長 開 會 點 鐘



ネット例会を開会致します。

会 長ご挨拶 仲峯 豊



ようこそ！

ロータリアンの皆様、堺フェニックスネット例会にご参加いただき感謝申し上げます。

2017-2018年度最終例会となりました。

1年間ご清聴ありがとうございました。

いよいよ今年度も1か月となりました。

今年度はいろいろと良かった事、素晴らしかった事また反省あり、こんな奉仕活動をしたかった等いろんな思いがあると思います。

しかしロータリークラブは変化に対応し、いろんな事が永久に行っていけるのがロータリーです。理事役員が代われど、会員の気持ちはひとつです。

次年度は会長エレクト様の方針を掲げスタートしてまいります。

クラブ一丸となって奉仕活動に汗を流し、新しい人と出会い、新規一転素晴らしいロータリー人生を歩んでいただきたいと思います。

2018-2019年度バリー・ラシンRI会長のテーマは【インスピレーションになろう】です。

なかなか奥が深いテーマです。

逆に素晴らしい発想で新しい事に挑戦できるテーマだと思います。

直訳すれば、インスピレーション(直感からのひらめき・瞬間的に浮かぶ思いつき)という意味です。

それこそロータリアン一人ひとりが考え、良いことを思いついたら即実行しようと行動していけるテーマです。

RI、地区、クラブではなくロータリアン一人ひとりの自由な発想で次年度は進んでいく時ではないかと思います。

今後は一人ひとりロータリアンが行動を起こす時です！

自分に何ができるのか？！

共にロータリー人生を楽しんでいきましょう！

今年度は本当にありがとうございました。

幹事ご挨拶

カスミアズ・アドルフマン



ロータリアンの皆様こんにちは。
今年度のネット最終例会にご参加いただき、感謝申し上げます。

尚ネット例会にご参加頂いたロータリアンの皆様には一切メーキャップ費用等はありません。

ご参加頂いたロータリアンの皆様からメールでご要望、講評、感想文、卓話等をどんどんお寄せ下さい。次回のネット例会に掲載させていただきます。

必ず返信メールにてメーキャップカードを発行させていただきます。

また堺フェニックスRCのホームページもお楽しみください。

クラブ会員の皆様は近況をお寄せください。

皆様で楽しく、為になるネット例会にしていきたいと思います。

何卒、皆様のご協力で、今後も素晴らしいネット例会になる事をご期待をしてご挨拶に返させていただきます。

本年も何卒宜しくお願い致します。

添付の資料「R I 2 6 5 0 地区会員増強セミナー」をご参考にお読みください。

6月のロータリーレートは1ドル110円です。

今年度ご参加ありがとうございました。

次年度もよろしくお願い致します。

Rotary



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-17年度 第2650地区
会員増強・維持セミナー

新しいタイプのロータリークラブ

2016年規定審議会可決事項の活用

新しいタイプのロータリークラブ

クラブの活力が減退していることが、今日のロータリーの最大の課題。
若い人達が入会しなければロータリーは衰退して行く。

若いひとたちは より柔軟性を持った例会開催や運営を望んでいる。
よってより良い受入体制と環境整備が増強維持に不可欠となります。

- ◇ 新クラブの多様化（革新性と柔軟性）
- ◇ E-クラブ
- ◇ 衛星クラブ

◇ 新クラブの多様化（革新性と柔軟性）

- ・早朝例会 ・夜例会 ・WEB例会（動画、SNS） ・奉仕活動例会 ・研修例会
（またはこれらを変則に） ※日本の昼例会は95%、世界は50%
- ・食事ナシ ・会費の縮小 ・若年層の会費低額 ・会場費無料 ・事務局費の圧縮
- ・スポンサー無し ・30才～40才の集まり ・平和フェローOB/財団OBが中心で構成
- ・新職業分類ばかりのクラブ

今後はさらに

アクト現役、学友生、地域奉仕リーダーなど「地域社会で良い評判を受けており、地域社会および世界に奉仕する意欲のある成人を」受け入れて行く。

◇ Eクラブの数

世界のEクラブの数

- ・アメリカ 39クラブ
- ・インド 36クラブ
- ・台湾 32クラブ
- ・韓国 23クラブ
- ・ブラジル 18クラブ
- ・イタリア 13クラブ
- ・日本 12クラブ

全世界270クラブ

日本のEクラブ(12クラブ)

- ・Rotary E-Club Sunrise of Japan
- ・日本ロータリーEクラブ2650
- ・東京米山ロータリーEクラブ2750
- ・ワールド大阪ロータリーEクラブ
- ・福山ロータリーEクラブ2710
- ・北海道2500ロータリーEクラブ
- ・HYOGOロータリーEクラブ
- ・愛知ロータリーEクラブ
- ・PAGO BAY GUAM ROTARY E-CLUB
- ・東京ピースウィングロータリーEクラブ
- ・2730ジャパンカレントロータリーEクラブ
- ・かながわ2780ロータリーEクラブ

※ 福岡レインボーロータリーEクラブ設立準備中

◇ Eクラブの特徴

- ・年会費が6～7万と安価である
- ・地区内、地区外、海外と会員が広範囲
- ・会員が100%地区内のクラブもある
- ・多国籍が集まっているクラブ
- ・学友生や学友OBが中心のクラブもある
- ・元ロータリアンも多数いる
- ・SNS、チャットなど連絡網オンライン化
- ・理事会等は実会合しているクラブもある
- ・定期的に集まって例会や事業もしている
- ・奉仕事業も従来型クラブと変わりなくされている

※規定審議会では従来型クラブとの区別がなくなる

◇ 故堀場雅夫氏とEクラブ

■ 堀場 雅夫様の投稿内容

所属クラブ・・・京都ロータリークラブ

2015年06月19日10:08

【問1、問2、問7について】

初めて会長のご挨拶を拝聴致しました。

予想以上に大きな活動をされていることが分かり、大変素晴らしい活動だと感激致しました。

今までどちらかと申しますと、Eクラブは積極性に欠けるのではないかと感じており、また自分自身も参加へは積極的ではありませんでした。

しかし、ご報告から致しますと大変大きな活動であると認識を改めた次第です。

また、Face to FaceとEクラブとをmixすれば、最高の活動になるのではないかと考えます。

私は、ロータリー入会以来50数年、ロータリー出席率100%を目指して参りました。

これは、皆様の心に火をともし最大の方法だと信じています。

皆様はいかが思われますでしょうか？私は信じています。ゲイリー・C.K.ホアンRI会長の「Light up Rotary」は、正にこの精神そのものだと思っています。

■ 堀場 雅夫様の投稿内容

所属クラブ・・・京都

2015年06月22日17:01

四つのテスト実行にあり。

これを行うことによってロータリーの具体的な活動を示すことができる。

特にEクラブの場合は、四つのテストを具体的に一つ一つ実行することが重要である。それによって今までEクラブに関心のなかった人も、Eクラブの理解ができるのではないかと。

特にロータリアンは無意識のうちに日常生活の中で四つのテストを実行している。これが真のロータリアンである。クラブ自体はクラブとして四つのテストを全てのクラブ活動の中に取り入れるべきだと考える。

素晴らしい家族会の動画を拝見し、好意と友情が如何に深まったかを知り、これこそ四つのテストの具体的な成果だと感じた。

この四つのテストの中でも、『真実かどうか』というのは大変難しい問題である。いつもこのテーマに私自身悩んでいるので、どなたかこれに対する解決法をお持ちでしたら是非ご教示頂きたい。

『みんなに公平か』というよりは公正という方が分かりやすいのではないかと。

これに対するお考えもお知らせ頂きたい。

■ 堀場 雅夫様の投稿内容

所属クラブ・・・京都ロータリークラブ

2015年07月01日15:40

先ず初めに、日本ロータリーEクラブ2650 2014-15年度河本義正会長はじめ理事役員及び会員の皆様、一年間ありがとうございました。

2015-16年度のお話にはなりますが、K.R.ラビンドランR.I.会長は、「世界へのプレゼントになろう」をR.I.テーマとされています。まさにこのテーマはEクラブのために作られたテーマだと私は思います。それほどEクラブは大きなプレゼンターであると思っているからです。このテーマとEクラブのアクションは同じであるということから、Eクラブはますますの拡大を図るべきだと私は考えており、Eクラブは各クラブの先頭に立ってそのアクションを強め、各クラブのお手本となって欲しいと私は考えております。

また、国際ロータリー第2650地区 2015-16年度 中澤忠嗣ガバナーのテーマは「クラブに『個性』と『憧れ』を！」ですが、日本第一号のEクラブである日本ロータリーEクラブ2650のスローガンとも一致するため、今後ますますのご発展を祈念致しております。

◇ Eクラブへアクセス

・メイクアップ方法 <http://rotaryclub2650japan.org/>

STEP 1

「メイクアップはこちら」ボタンからメイクアップの議題に対する投稿を記入するページへ移動してください。

STEP 2

議題に対して300文字以上～1,000文字以内で意見等を投稿してください。その際に、氏名・メールアドレス・所属クラブをご記入ください。(300文字未満の場合はMake-Upが認められませんのでご注意ください。)

STEP 3

メイクアップ証明書の発行手数料として¥1,000(税込)が必要となります。お支払方法はカードでの決済となりますので、そのまま決済処理ページへ進みお手続き下さい。お支払方法はクレジットカード(VISA・MASTER Card)での決済となります。

STEP 4

カード決済処理が完了しましたら、投稿いただいた際のアドレス宛にメイクアップ証明書(PDF)を添付したメールを送付させていただきます。

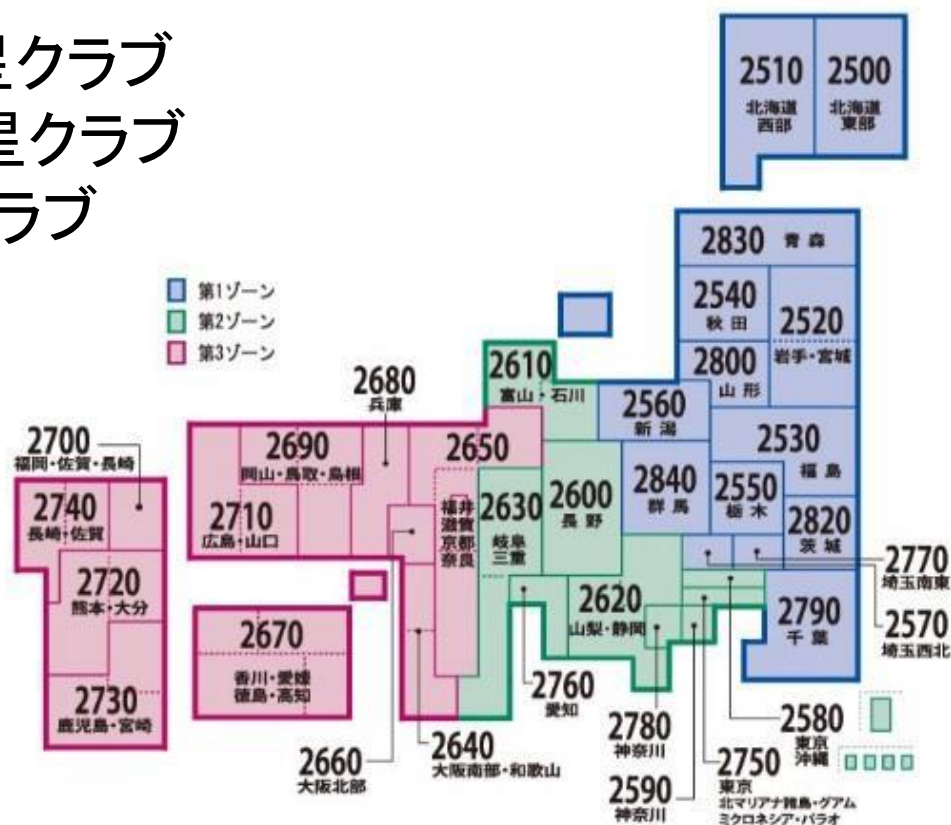
STEP 5

送付された証明書をプリントアウトし、所属クラブで手続きをしていただければメイクアップは完了です

◇ 現在ある衛星クラブ

2750 東京多摩せいせき 衛星クラブ
2510 札幌幌南ライラック 衛星クラブ
2530 福島しんたつ絆 衛星クラブ
2830 八戸中央西 衛星クラブ

34地区中 4地区
(4クラブ)



2016規定審議会結果の有効活用

- ☆ 例会の柔軟性(毎月最低2回の例会開催)
- ☆ 出席規定の柔軟性
- ☆ 入会金規定の廃止
- ☆ 会員身分の柔軟性
- ☆ ローターアクターと学友が入会できる
- ☆ 従来型クラブとEクラブの区別が無くなった

働き盛りの若年層が入会しやすく、またロータリー活動が活発にできる環境の整備ができるようになりました。

ロータリー不変の「基本理念」

「ロータリーの目的」や「中核的価値観」ロータリアンの行動規範を示す「四つのテスト」はいつの時代においても不変であるが、クラブや地区の**組織運営**は時代の**変化**とニーズにマッチするように変えて行かなければ組織の維持発展が難しくなる。

1997年から会員減少、その原因

- バブル崩壊による経済悪化、中小企業減少
- NPO団体が激増、草の根ボランティア誰でもできる
- インターネットによる情報収集が膨大
- 異業種交流団体や教育セミナー開催
- ロータリーステータスと若い世代の価値観とのギャップ
- 働き盛りの世代に昼例会(95%)とホテル(高い)
- 公共認知度低い(ソーシャルメディア利用への転換鈍)

2010年からRI戦略計画スタート

- ・1998年RI調査で地域からの認知度低さ知る
- ・3つの優先項目（**クラブのサポート強化**・人道奉仕の重点化と増加・公共イメージと認知度向上）

・クラブのサポート強化の具体化

- クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- 例会の柔軟性
- 例会頻度の柔軟性
- CLP（クラブリーダーシッププラン）の強制
- 会員基盤の多様性を奨励
- 準会員、法人会員、衛星会員、ボランティア（NPO代表）会員etc
- 会員の勧誘と維持を改善する
- 職業分類の柔軟化と適用廃止etc
- ダイナミックな新クラブを結成する
- 学友クラブ、米山クラブ、RACクラブ
- Eクラブ通常例会化、通常クラブのEクラブ化
- 多様な種類の衛星クラブetc



ロータリークラブの現況

世界・日本・2650地区の会員数状況 (2015年12月現在)

- ・ **世界** クラブ数・・・34,781 会員数・・・1,214,816人(女性15%)

増加国 (韓、独、印、台) 減少国 (米、日、豪、カナダ)

- ・ **日本**

クラブ数・・・2,287 会員数・・・88,785人(女性8%)

1996年13万人(20年で30%減)

- ・ **2650地区**

クラブ数・・・97 会員数・・・4,625人(女性3.7%)

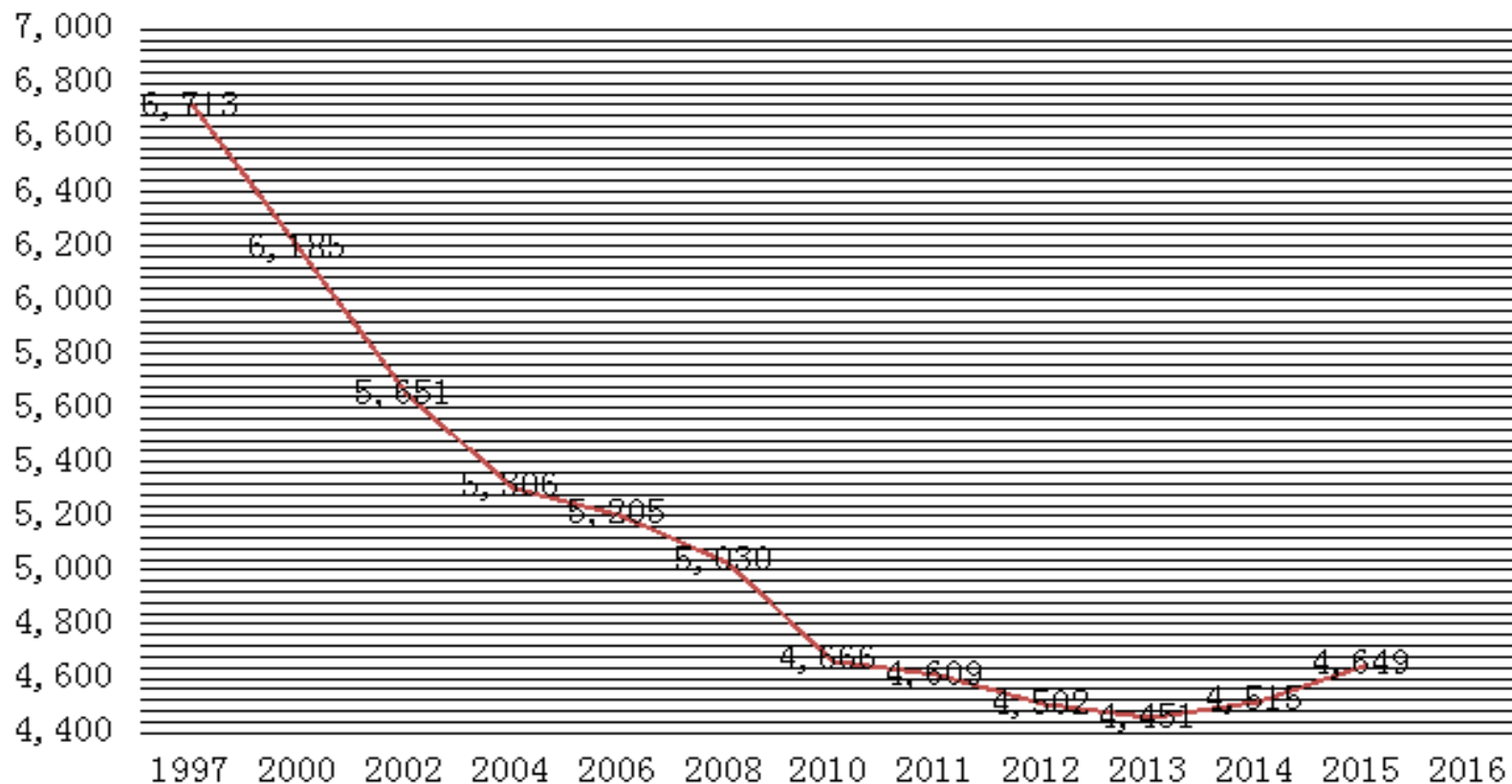
1997年6713人(20年で30%減)

※日本ライオンズ1993年168000人➡2013年10万人に減

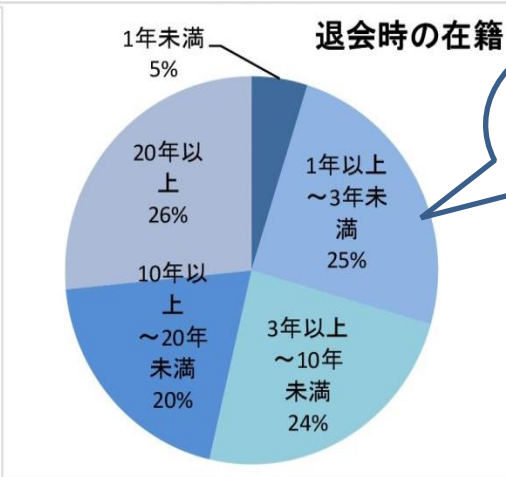
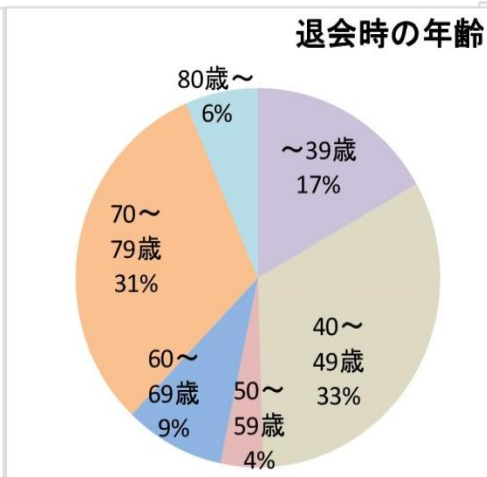
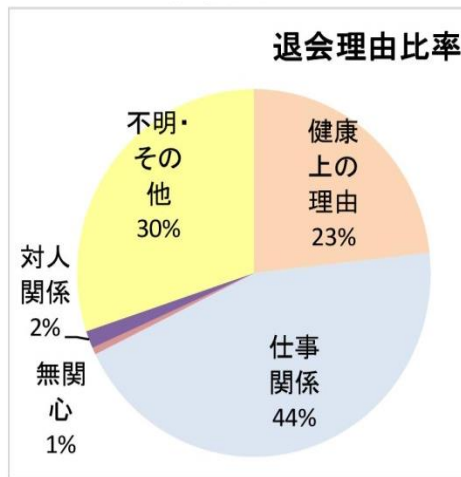
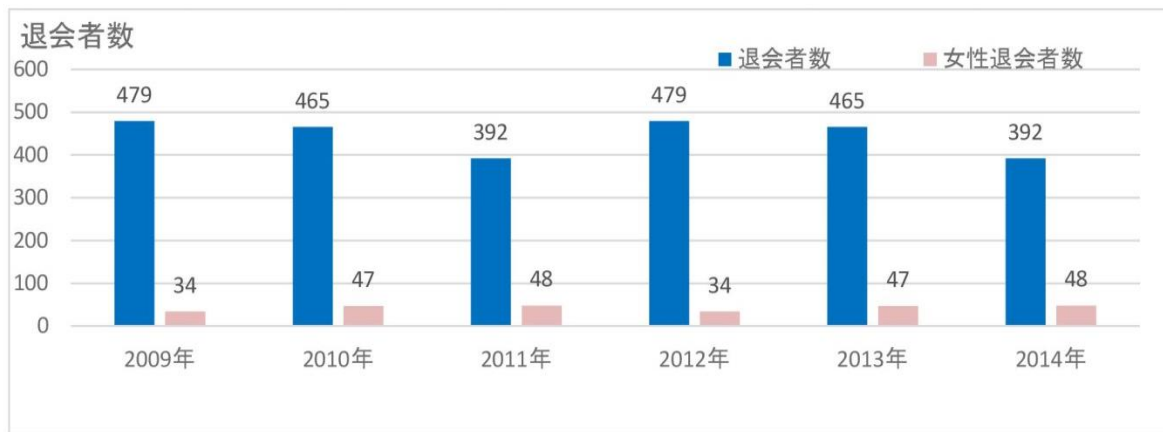
家族会員(年会費1万)で驚異的に増で2015年123000人

2650地区の会員数推移

(2015年12月末)



退会者について



注目

退会防止

一声運動

会員相互の声かけによる意識啓蒙

魅力づくり

新入会員から見たクラブの評価

奉仕事業

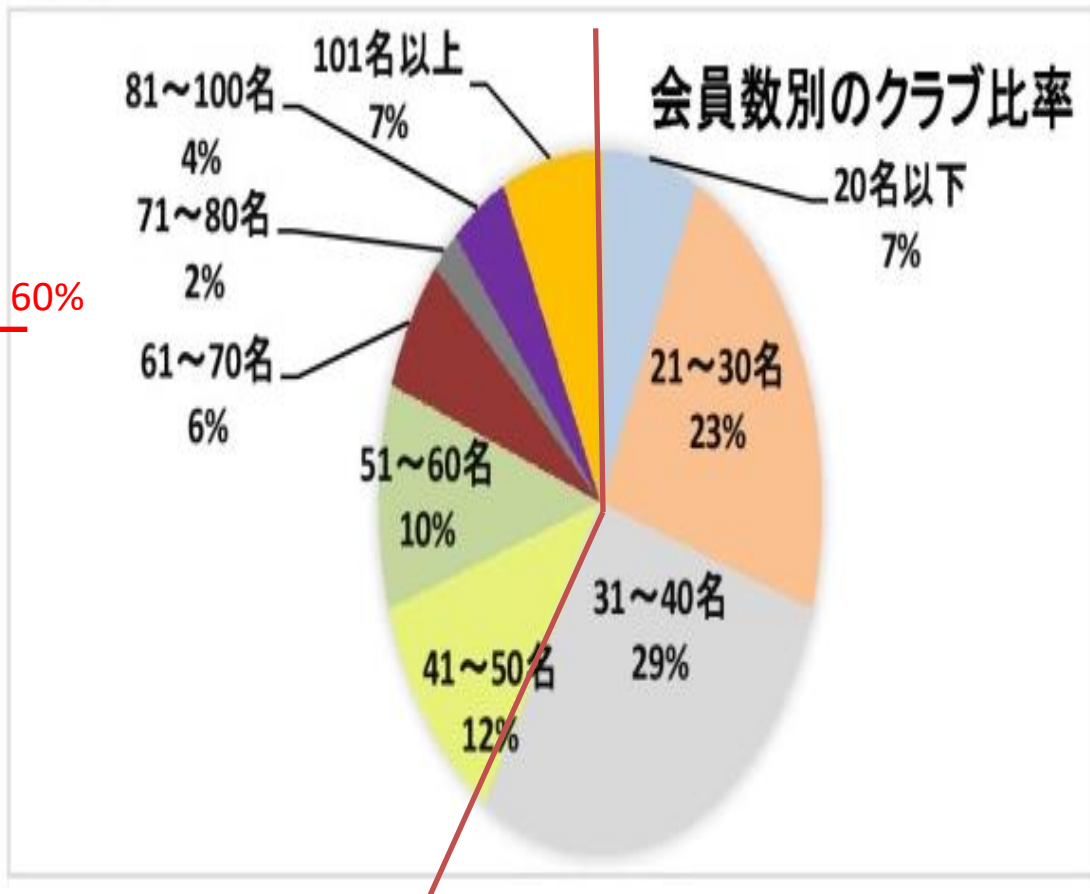
参加したいと思う奉仕プロジェクトを



会員基盤の強化

2650地区における会員数別のクラブ比率

会員数	クラブ数	割合
20名以下	7	7%
21～30名	22	22%
31～40名	28	31%
41～50名	11	11%
51～60名	10	9%
61～70名	6	7%
71～80名	2	2%
81～100名	4	4%
101名以上	7	7%



増強実践シュミレーション

～クラブ規模に応じた増強案～

委員 池田祥司

各クラブが抱えている課題集

97クラブ合同増強会議(2/27) 〈少数会員クラブの現状問題〉

- 財務が厳しく事業費など捻出できない
- 固定経費や事務局費が負担である
- 出席免除会員や高齢者が多く、奉仕事業など動員的に苦しい
- 大きな事業もできず認知度アップ図れない、また事業の達成感を共有分かち合えない
- 少ないため地区行事や、その他の行事出席が困難である
- 少ないため例会に活気が無い
- 居心地が悪い
- 少ないためゲストスピーカーを呼びにくい、又ゲストスピーカーに申し訳ない
- 少ないため情報量も少なく、ロータリアン同士の交流交友も少ない
- 入退会の出入りが激しく3年未満会員でクラブ運営をしている
- 過疎地で企業数も少なく勧誘対象者も少ない
- 勧誘対象者には全部回った、元ロータリアンに戻って来てもらいたい

2650地区共通課題は！

★40名以下のクラブ編(2650地区では60%が40名以下)

※従来の運営だと40名が財務の分岐点

※財務と人数的にも奉仕事業に支障

※例会も活気が無く寂しく、情報交換も乏しい

背景にはエリアと会員層

- 1、過疎地域にある少数クラブ
- 2、人口密集地域(都会or県庁所在地)にある少数クラブ
- 3、高齢者会員が多い少数クラブ

会員増強戦略計画

流れ:「会員増強計画の実践」

1

• 自分のクラブを知る

2

• 会員増強の必要性和その共有

3

• どんな増強をしたいのか？（理想クラブへ）

4

• 長期計画に基づいた会員増強戦略の立案

5

• 会員増強の実践

6

• 維持・退会防止への理解

自分のクラブを知る

①クラブの短所（クラブの課題）

- ・会員数が少なくクラブに活気がない
- ・奉仕活動等の規模や内容が限られる
- ・会費収入が少なく、財政的に厳しい

②クラブの長所（クラブの個性、増強戦略立案のヒント）

- ・規模が小さいため、機動力のある活動ができる
- ・新しいことをするとき、意思統一が図りやすい
- ・会長、幹事等の歴任者が多く、組織や地区に精通している

会員増強の必要性とその共有

〔会員増強の必要性〕

- ・自クラブの活発な運営のため
- ・奉仕活動等の充実

〔会員増強の必要性の意識共有〕

- ・会員全員で増強に対する意識を共有する

会員数の目標を考える！

- ・いったい何人のクラブに成りたいのか？
会員間ではっきりさせる。

会員（長期）目標_____名を明確に

「居心地の良い人数」

⇔「本来あるべき人数（目標）」

【POINT!】 常識外の、高い目標設定

会員増強の数字を確認・・・

●クラブの会員数 _____ 名

●純増目標 _____ 名 (_____ %UP)

男性 _____ 名 / 女性 _____ 名

【純増目標】

5% 10%UP?

平均? 上位?

人数? 構成
比?

●退会者 _____ 名

●入会を目標とする人数

_____ 名

3年後5年後の会員数(中期目標)

課題解決のきっかけ作り

ダイナミックに運営の仕組みを変える
(成功事例と規定審議会での制定案から)

- ・クラブの刷新性と柔軟性
- ・例会の柔軟性
- ・例会頻度の柔軟性(規定審議会での制定案)
- ・CLPの強制
- ・会員基盤の多様性
- ・準会員 法人会員 衛星会員 学友会員 RAC会員
主婦会員 ボランティア(NPO)会員

具体的な実践方法として(シミュレーション)

会員増強を積極的に考えているか？

no

・現状でよい。
・特に考えていない。

yes

新しい会員増強に対する取組みを考えているか？

no

・従来通りでよい。
・特に考えていない(人任せ)。

yes

2016年規定審議会制定案の有効活用を考えているか？

no

・クラブ独自の取組みを実践。
・既存の手法をメインにする。

yes

a.時間的方策

b.経済的方策

c.構造的方策

a.その他方策

a. 時間的方策

＜赤字は2016規定審議会制定案を有効活用＞

- ☆ 時間的制約があり入会を断念していた人を増強。
- ☆ 若い会員、職業的に昼例会出席が困難な会員を増強。
- ☆ 例会時間に代え、その時間を奉仕活動に充てる。

・ 例会時間の一部または全部の変更
(夜例会、ネット例会 ...etc)

- ・ 例会開催日の柔軟性 (毎月最低2回の例会開催)
- ・ 出席規定の柔軟性 (各クラブの細則で決定できる)

b.経済的方策

☆経済的条件が参入障壁となっていた会員を増強。

☆特に若年層に有効。

- ・会費の一部免除、減額。
- ・例会場の変更や開催時間の変更による例会費用の圧縮。
- ・入会金規定の廃止。

b.経済的方策

＜赤字は2016規定審議会制定案を有効活用＞

☆経済的条件が参入障壁となっていた会員を増強。

☆特に若年層に有効。

・会費の一部免除、減額。

・例会場の変更や開催時間の変更による例会費用の圧縮。

・入会金規定の廃止。

c.構造的方策

＜赤字は2016規定審議会制定案を有効活用＞

☆ロータリークラブの仕組みについての工夫。

☆変更された事項を有効に活用する。

・女性会員の積極的な勧誘。

・会員身分の柔軟性。

（職業人以外の善良市民奉仕者も会員対象となる）

・ローターアクトや学友も会員になれる（二重会員OK）。

d.その他方策

☆色々な角度から工夫してみる。

- ・ゲスト例会等の企画。
(異業種交流会、公開例会、体験参加)
- ・近隣クラブとの合同例会(連携して会員候補を集める)。
- ・ソーシャルメディア(SNS等)の活用。

退会防止

一声運動

会員相互の声かけによる意識啓蒙

魅力づくり

新入会員から見たクラブの評価

奉仕事業

参加したいと思う奉仕プロジェクトを



会員基盤の強化



ポール・ハリス

(1868-1947)

ロータリーの創始者

- ▶ ロータリーは時代の変化と共に常に変わって行かなければならない
- ▶ クラブに魅力がなければ会員は退会して行く

18

いま
“夢を語り、現在を刷新”

Review from the future and Renew

会長閉会点鐘



本年度ネット最終例会を閉会致します。
ご参加ありがとうございました。